

同友会三つの目的

「よい会社、よい経営者、よい経営環境をめざす」

③同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

おきなわ同友会しんぶん

# ニライ みらい

2018年(平成30年)12月号  
No. 369  
発行：沖縄県中小企業家同友会  
編集：広報委員会  
〒901-0152 沖縄県那覇市字小嶽1831番地1 沖縄産業支援センター603号  
☎098-859-6205(代) FAX.098-859-6208  
http://www.okinawa.doyu.jp  
E-mail:doyu@okinawa.doyu.jp

## 第46回 青年経営者全国交流会 in 沖縄

# 会勢1300名達成、1296名の全国行事を開催!!



宮崎由至氏



平田大一プロデュース  
スペシャルアトラクション



玉城 絵美氏



2日目の「全体会」の様子(上段中央は懇親会のアトラクション、左・右は特別報告と記念講演の講師)

十一月二十九日(三十日)の両日、『肝高く万国津梁を担う結人たれ!』と『まくとうそーけー、なぐくるないさ』をスロークンに掲げた第四十六回青年経営者全国交流会in沖縄がロワジールホテルを中心に開催されました。この日のために、若手経営者の会『うりずん』メンバーを中心に全国へ参加呼びかけを行ってきた努力もあり、県内・外から総勢一二九四名が参加。沖縄らしいおもてな

しも随所に見られ盛大な幕開けとなりました。一日目は、十四のテーマに設営された分科会に分かれ約五時間に渡って学びを深め合いました。どの分科会でも、グループ討論では活発な意見が飛び交い、有意義な時間が過ごせたという意見が数多く寄せられました。(分科会の報告は次面参照)

と交歓。さらに、この日のために準備した平田大一大一プロデュースのダイナミックな演舞は、全国の参加者も圧倒されていました。カチャーシーも飛び出すなど、終始和やかな雰囲気、歓迎の気持ちが伝わった。懇親会となりました。二日目の全体会では、全十四分科会から代表して三つの分科会の座長より報告がありました。第十三分科会の座長として報告した宮城光秀副代表

最後に記念講演として話題の研究者であり起業家であるH2L(株)・創業者の玉城絵美氏が「ビジョン実現のための創業と研究―研究発想から世界をねらう―」をテーマに講話。幼少期の入院中の経験がモノづくりの原点だったと語る玉

その後の、(株)宮崎本店の代表取締役会長・宮崎由至氏による特別報告では、中小企業の狙うべき市場は「ニッチマーケット、個性的で差別化された商品、高価格、地域・商品・顧客別シエア」にあると強調。ユーモア溢れる語り口ながら経営者の芯を突く内容で、自社の強みと弱みを客観的に見てくれているのが同友会の仲間。同友会で経営を話しあうことが自社の成長につながることを述べた。

理事は分科会が開催された沖縄空手会館にちなみ、沖縄が発祥である空手は専守防衛であり、沖縄戦を経験したこの地から平和を考えることは、地域を担う中小企業経営者として意義があるという報告がありました。

さらに、海外からも大きな注目を集めている研究は大手企業との共同開発もスタート。常に目標を定め、問題があれば解決する要因を突き止め、実現へのプロセスを着実に進捗していく姿勢に、研究と起業の両輪が夢を実現するという新たなスタイルを見せてもらいました。



来年の「青全交」をPRする熊本同友会の皆さん

二日間に渡って続いた第四十六回青年経営者全国交流会も、次回の開催地熊本同友会へバトンを渡し、感動のフィナーレとなりました。(株)カリタス・根橋理香



次の実行委員長へバトンの引き継ぎ

城氏は、ロボットなどと身体機能を共有する「ボディーシェアリング」を研究し、今年からは「FES-PR」を販売。柔らかな雰囲気と引きこもりで居たいという言葉とは裏腹に、常識を覆す新たな視点と目標を達成するために仲間を集め、必要な知識があれば人脈を辿り、さらにクラウドファンディングも活用し資金調達もするという実現力には目を見張るものがあります。

責任」が欠乏しているように感じる。経営者はいかに環境が厳しくとも、経営を維持・発展させる責任があり、経営理念・方針・計画を作り、企業的全機能をフルに発揮させ、企業の合理化を促進し生産性を高め、企業発展に必要な生産と利益を確保するために全力を傾注することが求められる。これは同友会が掲げる経営者の責任である。その達成具合を図るため、企業変革支援プログラムの「経営理念の成文化と社内共有、社員との信頼関係の構築、経営者の自己変革、自社の経営の主要数値の正確な把握、企業の社会的役割と責任の自覚」と五項目の問いに対し、六段階で自己採点することが出来る。変革はすぐには実現しないが、崩壊はあつという間におこる。今年こそ自社変革の達成具合の観測を始めてみてはどうだろうか。(会員専用ページ)の企業変革支援PG

## 茶論

二〇一八年を振り返ると、着物販売の破産による新産物の販売、川金人の振り袖被害、ホールディングスによる免震・制振装置(オールドンパー)の性能検査データ改ざん、カリスマ経営者と言われた日産自動車カルロス・ゴーン会長の報酬過少記載容疑等、一経営者の責任が問われる事件が目についた。当事者には「経営者の責任」が欠乏しているように感じる。経営者はいかに環境が厳しくとも、経営を維持・発展させる責任があり、経営理念・方針・計画を作り、企業的全機能をフルに発揮させ、企業の合理化を促進し生産性を高め、企業発展に必要な生産と利益を確保するために全力を傾注することが求められる。これは同友会が掲げる経営者の責任である。その達成具合を図るため、企業変革支援プログラムの「経営理念の成文化と社内共有、社員との信頼関係の構築、経営者の自己変革、自社の経営の主要数値の正確な把握、企業の社会的役割と責任の自覚」と五項目の問いに対し、六段階で自己採点することが出来る。変革はすぐには実現しないが、崩壊はあつという間におこる。今年こそ自社変革の達成具合の観測を始めてみてはどうだろうか。(会員専用ページ)の企業変革支援PG

(石原地江)





### 第1分科会 リレー報告から 4氏の異なる視点学ぶ



佐藤周司氏



石川朋之氏

リレー報告、その後パ  
ネルディスカッションが  
行われ、環境や立場の異  
なる青年経営者四名が同  
友会を通して、何を学び



村上令一氏



青木恵之氏

第一分科会は「青年部  
活動と企業経営は不離一  
体」学んで実践し会社  
を発展させるには」の  
テーマのもと、コーディネ  
ーターに(株)つくば食  
品・八巻大介氏、パネリ  
ストに(有)日青工業・青木  
恵之氏、(株)村上製作所・  
村上令一氏、(株)HONK  
I・石川朋之氏、仙周工  
業(株)・佐藤周司氏の四名  
によるパネルディスカッ  
ション形式で行われまし  
た。

### 第2分科会 もっとも大事なものは 社員！



宮崎由至氏

どのように会社や仕で実  
践しているかをディス  
カッションされていまし  
た。  
異なる視点から石川さ  
さんが「組織づくり」村  
上さんが「自分づくり」青  
木さんが「企業連携づく

第二分科会は、「未来  
を拓く「人を生かす経営」  
—伝統産業を生き抜く、  
情勢認識と経営戦略」を  
テーマに(株)宮崎本店・会  
長の宮崎由至氏が報告さ  
れました。  
日本の労働力は高いと  
いうイメージがあるが、  
昨今の新卒採用ではアジ  
アの新興企業で初任給  
五十万円もある。日本は  
二十万円位からで理工系  
の人材はほとんど海外に  
流出している。日本は技  
術立国でやっていけるか  
不安。

シャープと東芝は潰れ  
た。それは経営者が株価  
に目がいつている時価総  
額の経営だから。大事な  
のは株主となる。大手は

り「佐藤さんが「未来づ  
くり」について話されま  
した。青木さんは二十六  
歳で父が経営する日青工  
業に入社し、当時非常に  
厳しい経営状態だった会  
社を何とか立て直しま  
す。当時は借入を返すた  
め必死になって昼夜間わ  
ず働く毎日のなか、自分  
たちは単にモノを作る会  
社ではなく、「想いをカ  
タチにできる会社」にな



宮崎氏の話に聞き入る参加者

りたいと気づき社員と共  
に商品開発に取り組み  
ました。青木さんはメタ  
ルバタフライ」が完成し  
ました。登壇された五名  
の首元には金属製蝶ネク  
タイがお洒落にコーデ  
ィネートされていました。  
その後のグループ討論  
も積極的な討論が交わさ  
れ大いに盛り上がりまし  
た。(株)崎浜商店・崎浜  
秀太)

（そのブランドでしか味  
あわえないオンリーワ  
ンの世界観・物語）で勝負  
すべき。勝負どころは狭  
い範囲でないと無理。  
自社の強みは何かと同  
友会の仲間にも聞いても明  
確に答えられない。その  
強みを一番知っているの  
はライバルだが、教えて

### 第3分科会 同友会の学びから 経営者の「覚悟」気づく



谷口裕純氏

第三分科会は、アトリ  
エステディ(株)・社長の谷  
口裕純氏を報告者に「社  
員と向き合う覚悟」輝  
くビジョンが私たちに強  
くする」のテーマで報告  
して頂きました。  
何か新しいことをしな  
いと他社に負けてしま  
う。貸衣装、写真スタジ  
オを経営する谷口氏は  
様々な仕掛けで売り上げ  
は大幅に上がり、外部か  
らも期待され、自分のイ  
メージ通りに進んでいる  
と思っていた矢先、社員  
さんからA4用紙三枚が  
渡されました。「仕事  
お客様は好きです。ただ、

会社・経営者についてい  
きたいとは思いません。  
お金や時間、大切なこと  
にはルーズ。私たちが何  
だと思って残業させてい  
るのか」。前を向いて進  
んでいけば、お客様は喜  
び、社員もそれにやりが  
いを感じてくれると思っ  
ていました。

### 第4分科会 自分が変わり、 人を認めること！



森弘国氏

はくれない。だから同友  
会の仲間にも聞いて確  
かめてみるのがいい。  
どんなに小さな市場で

第四分科会は、報告者  
に(株)マスの森弘国社  
長を迎え「業績向上は社  
員と共に」をテーマに報  
告して頂きました。

もいから一位を目指  
す。中小企業は、お客様  
を「狭く」、「深く」、「熱  
く」掘る。

祖父の代から続く機械  
工具商を二〇一二年に父  
から代表を引き継ぎ会社  
の変革、社員教育を「あ  
るべき論」で動かそうと  
していた失敗談から始  
まり、現在の会社の業績  
までかなり踏み込んで報  
告して頂きました。  
「家業は好きではな  
かった。物を右から左へ  
動かして利益を得るそん  
ないやらしい商売よりも  
物を作り人に喜ばれる仕

苦しい、何とかしない  
と、でも冷静になれない。  
もがく日々。そこで同友  
会と出会いました。仲間  
を得て、経営者がどのよ  
うな覚悟を持っているの  
か、気づきを得ることが  
できました。ここで自分  
自身変わらなければと思  
い、母親である社長に事  
業承継をお願いしました。  
指針を作り、組織を作  
り直そうと、幹部合宿を  
行い、そこで指針の理解  
考え方の共有を図ること  
により志を同じにする第  
一步を踏むことができました  
と感じました。  
現在、残業はほぼなく  
なり、社員ともコミュニ  
ケーションを図り、少し  
ずつ「よい会社」らしく  
なってきたと感じます。  
(事務局)

他にも「事業承継」や  
「戦略と戦術」等、多く  
の学びがあった。(冒険  
王(株)・佐和田安行)

「権限委譲や社員との真  
剣で本気の語り合い」な  
かなか出来ない事をやり  
続ける経営者。とても考  
えさせられ実践していき  
たいと強く思う分科会  
でした。(株)機工・田場英行)





第5分科会

自己満足な「経営理念」  
社員は受け入れられない!



渡部 伸哉氏

第五分科会は、(有)三和興産・社長の渡部伸哉氏を報告者に「自己満足から自己変革への経営―社員さんから教えられた経営者の覚悟―」のテーマで報告されました。  
建設・土木工事業の祖父が創業した会社の三代目として入社。一年後に専務取締役に就任し、それまで代表者のワンマン経営・一社依存型体質からの脱却を目指し、自ら経営理念を作成しました。しかしそれは他社のホームページにあるものを真似たものに過ぎず、社員に発表するも全く響くものではなかった。その後、同友会で経営理念について学び同友会で発表したところ先輩会員から「社員のことが全く書かれていない」と強く指摘されます。また、「いつになったら自分たちはよくなるのか」と、本来は何も言わないで去って行ってもいいはずの社員から教えられました。  
この二つの言葉がきっかけとなり社員との関係を見直し、個人・会社・社員を一つにした年表を

作成しました。年表により十年後の会社の姿を予想し主力社員の定年による人員減対策として人材育成の必要性を理解できたことや、社員と会社の未来について、戦略や計

第6分科会

香川の企業組織率  
一位の理由・底力実感



木村 征司氏

第六分科会は、「社員と共に走り続ける企業へ―熱い仲間と俺物語―」をテーマに(有)生島興業の木村征司社長が報告。木村社長は、香川県高松市生島の地で造船業を営む家の長男として生を受けました。就職先の会社でクレームの操作技術を取得、造船業の関連からクレーンリース業を柱に(有)生島興業を二〇〇〇年に設立します。経営は順調で次々と事業を拡大していきませんが、自ら起こした飲酒事故をきっかけに会社存続の危機が訪れます。  
周りから愛想を尽かさる中、社員だけが味方になり、社員のありがたみ、社長としての自覚が芽生えます。私利私欲、会社は自分の物との考え

画を共有することが出来ました。  
自己満足で作成した経営理念は全く社員には受け入れられなかったが、経営者自身が変革し真剣に経営を覚悟することで、社員とともに経営理念を共有することが重要であることを深く理解できた報告でした。(株)LDC・大内政彦

報告者の木村社長の印象は、エネルギーッシュで、リーダーシップを発揮され、行動力とともに、人間の魅力を感じました。同友会青年部での学びも大きなきっかけになりました。いい、終わりなき挑戦を続け社員とともに輝く会社へと発展される様子が見える



熱心に語り合うグループ討論

第7分科会

サービスの棚卸で  
「お客様の思い叶える」に集中



野村 雅彦氏

第七分科会では、「付加価値を高める」をテーマにNomura Art Plant代表の野村雅彦氏に報告して頂きました。  
野村氏は、老舗染め工場の跡取りとして、大切に育てられた環境もあり、「自分が」というものの見方で育って来ました。染め工場の退職をきっかけに起業しましたが、考え方に変化はなかったそうです。  
力を感じました。(株)デザインワークス・東恩納政希

よくでした。  
香川県が仲間づくり企業組織率一位の理由、底力を感じました。(株)デザインワークス・東恩納政希

第8分科会

理想を追い求め、  
ここにない未来を創る



橋崎 牧人氏

第八分科会は、日新産業(株)・専務の橋崎牧人氏を報告者に「まだここにない未来は自分たちで創る―半端ないほど想いを続け、やり続けて創り上げてきたもの―」のテーマで報告して頂きました。  
橋崎氏は、突然の事業承継、立て直しに奮闘と、いったことから始まり、同友会との出会いがあります。当初は未来を語れないため入会を見合わせます。二年間業績が伸びない中で覚悟を決め同友会を再度訪ね、例会に参加し経営指針書を活用

いく事も大切。単純に売上を上げて立ち行かなくなる。それに気づいた時に、サービスの棚卸をしました。理念に沿っている事と、利益率を基準に判断をしました。  
自分たちが思っている価値とお客様が買ってくれている価値に差があります。これは、マーケットティンダグしないことからなかったです。サービスを棚卸したことで、「お客様の思いを叶える」ここに集中できる様になりました。「お客様のご要望をお聞きして、ゴールを共有

したチームづくりに進。経営指針書は父親である社長からゴミ箱行きへの経験をしますが、やり続けることで少しずつ社内に変化をもたらせました。売り上げ五億円の壁も、同友会の先輩方に相談・実践したことで目標達成し、沖縄への社員旅行も実現したとお話がありました。  
若手社員が新しいチームとして活躍している中、先輩社員の方へ感謝の意思を伝えることも忘れません。また、MG研修に参加することで数字や経営の見方が変わるようになり、勝てる戦略を考え、過去最大の投資に踏み切るといった報告もありました。その成果は新しい仕事の受注や効率化に役立っています。

し、ご要望に応じて続ける。」思いに込め続けることで、「信頼」が生まれ、Nomuraさんなら、要望を叶えてくれる、期待してくれ、その思いへの責任とやりがい。社員も誇りを持って仕事に励んでくれています。棚卸のお陰で、急な休みや長期休暇でもスムーズに仕事が行われる様になりました。  
最近では、抽象的な依頼が増えて来ました。信頼が厚くなって来たからだと感じています。(株)ユニイテッドシステム・田場盛伸)

また、高級ワインとハウスワインの話やマクドナルド半額キャンペーンの例え話も用いながら業態転換や自社の強みであるスピード感の話が分かりやすく報告がされました。業界全体の追い風もあり、スピードがありすぎて社内に疲弊感もあります。そこも現状分析し次のステージを目指すとのこと。ここでも同友会の先輩へ相談やアドバイスを貰い実践していくと語られました。  
最後に理想を追い求め、現実を変えることを話し「まだここにない未来は自分たちで創る」のテーマへとまとめました。そうした熱い報告をうけてグループ討論では、①あなたにとって市場の創造とは何ですか? ②そのために会社で何をやり続けますか?のテーマで活発に話し合われました。(ファイナンシャルジャパン(株)・大浜博文





第9分科会

両者とも「経営は愛！」



松山 将三郎 氏



佐藤 大貴 氏

第九分科会は、「経営者として大切なもの」社員と共に成長する会社づくり」のテーマに沿って二名の報告者、グループ討論も二回行い密度の濃い分科会となりました。

一人目の報告者、岡山同友会でシステム開発業のインフォポート(同)・CEOの松山将三郎氏からは、「自主性」「明確なゴール」「愛のあるフォワードバック」「公平なルール」の四つのキーワードを軸に報告。趣味でもあるゲームの要素(自主的にクリア目標に向かってルールに従って楽しむ)を経営に活かす取り組みをされており、松山氏個人の社員教育の限界、健障者で妊婦でもある社員など、課題、問題に対してゲーム的な要素を取り入れた目標設定、評価シート、「平等ではなく公平」な社内ルール作りの実例を報告していただきました。

二人目の報告者、愛知同友会でFC飲食店経営

の(株)リングス・社長の佐藤大貴氏から「経営は愛だ！」をテーマに報告。愛とは「相手との違いを知り受け入れる」と定義され社員・バイトのご家族にお会いし家庭環境を理解することから始め、問題のある方やLGBT等多様な社員達が働ける

第10分科会

諦めない、逃げない覚悟で社員と共に歩む



内田 敬之 氏

第十分科会では、「変革と挑戦(後継者)、立ち止まるな!!現状維持は退化の始まり」困難に立ち向かう経営者の覚悟(「をテーマに、(株)寿産業の内田敬之社長に報告頂きました。

鹿児島県で総合建設業を営む(株)寿産業は建設業界における外部環境の悪化により、安定した収入が見込める廃棄物処理業への参入を試みます。地域に必要とされる会社を目指し最終処分場の購入を決意。しかし、下請け工事では不渡り手形をくらしい、税務調査では追徴課税を受けます。さらに

環境づくりに取り組まれています。経営指針書が命令書になってしまった経験から、社員の形に併せて会社の形を変えたいということも人を活かす経営ではないか、それを行うプロセスとリーダーの定義を報告していただきました。

両氏とも「愛」を基本としており愛の溢れる分科会となりました。(株)レイメイコンピュータ・諸喜田源)

第11分科会

ちようちんを伝統産業として残す!



秋村 敬三 氏

第十一分科会は、(有)秋村泰平堂の秋村敬三社長による「もらったバトン」とはあと三年!一〇〇年企業の実業承継に関する報告でした。

あと三年で創業から一〇〇年を迎える企業の社長である秋村氏の経営報告は、同友会活動と会社経営は不離一体との考えと事業承継の取り組みを赤裸々に語る入魂の報告内容でした。

市場が縮小するちようちん製造業の中にあって、先代のやり方に疑問を持ち若干三十歳にて社

長に就任した秋村氏は、想定していたよりも上手くいかない経営に限界を感じ始めます。

同友会の学びの中で、東日本震災で被災した企業の経営発表を聞き、経営理念の大切さに気づかされます。そして、経営者の器以上に会社は大きくならない、との思い



分科会報告の一コマ

第12分科会

中小企業振興基本条例を活用し街の課題解決を

分しかいない。あきらめない覚悟、逃げない覚悟を持って従業員とビジョンを共有し、共に歩んで行く。」同友会での学びを経て、ど

県から入札停止、業務停止命令を受けます。心もボロボロになったその頃、中小企業家同友会に入会し、グループ討論でたくさんのアドバイスを頂きます。「こうなった責任はすべて自分にある。従業員を守るのは自

第十二分科会は、カドウフーズ(株)・社長の嘉堂聖也氏が「街の課題が自社を強くする」魅力的な街No.1函館の挑戦」のテーマで報告されました。

「魅力的な街No.1」に選出された函館の課題。それは、お土産店に並ぶお土産は他地域の商品が大半という事。そこで、カトウフーズ(株)は、地場で用途が限られていた「さつまいも」の付加価値を高める事業や高校生らを巻き込んだ事業で、地元新銘菓「はこだて雪んこ」を開発しました。

結果、地域の課題解決と事業拡大を同時に行うことができました。

起を果たします。経営理念は「当社を取り巻くすべての人々へ笑顔を届ける『福の神』を目指します。」とし、現在も右肩上がり業績を伸ばしています。

その後のグループ討論では奥様も交え「企業成長に必要な経営者の覚悟は何だと思えますか?またそれをどのように示しますか?」をテーマに活発な意見交換が行われ、大いに盛り上がりました。(神谷酒造所・神谷雅樹)



嘉堂 聖也 氏

嘉堂社長は、「企業と地域づくり」の関わり方を模索する中、「企業と商品を強める街づくり」に思い至り、即行動を起こします。そして、「はこだて雪んこ」に続き、函館商業高校と連携した新スイーツ「りんごに恋した女子高生」を発売しています。

人口減少時代において、中小企業が街の課題解決に取り組むことは、短期的・直接的には利益に結びつかないことが多いと思われがち。そんな難題に取り組む嘉堂社長の情熱と行動力に多くのことを学んだ分科会でした。

そして、同じように地域活性化に取り組む中小企業に勇気と可能性を感じさせてくれる分科会でした。

また、同友会の組織力と同友会を中心とした教育機関・金融機関との連携や中小企業振興基本条例に基づいた審議会・振興会議を最大限に活用していくことで街の課題を解決していくことの重要性を感じました。同友会の使命は大きい!(オオノ 星崎・星崎浩二)



白熱したグループ討論





**特別分科会**  
(沖縄が担当した分科会)



新城 俊昭氏

第十三分科会は「沖縄から見た『平和』のあり方―中小企業家として、どのようにして平和な世の中を創っていくか」のテーマで、沖縄大学・客員教授の新城俊昭氏に七十二名の参加者の中、報告をして頂きました。琉球王国が建国される時代を学び、武力を背景とした「琉球併合」廃琉置県」で、日本国に強制併合され沖縄県となった時代を学んで、沖縄はどのようにして日本になったのか?を認識するところから報告が始まりました。沖縄戦から見る住民被害、戦争は人間の心に何を残したのかなどを最新の資料や戦争体験者からの聞き取り調査などで得られた情報を基に、戦後世代の戦争責任と沖縄戦から学ぶ意義を問いつつ、近代日本における沖縄の地位や戦後における沖縄の地位を話して頂きました。また、沖縄だけでなく

**第13分科会**  
沖縄のアイデンティティを参加者全員で考える



平和について意見を交わす

広島・長崎の原爆や東京大空襲などで多くの日本人が犠牲になりましたが、沖縄はなぜ本土に対して自らの「被害」を強調するのか?同じ日本人なのに、沖縄はなぜ日本政府のいうことを聞かないのか?など会場の皆さんと共有しました。歴史的背景を踏まえながら、沖縄は本土と同等とみなされていない事や戦後から続く基地問題が解決されないまま新基地建設を推進する政府への不満などが沖縄県民に根付いた感情であると報告されました。そこで沖縄批判と沖縄アイデンティ

ティについて参加者全員で考えました。グループ討論は、どのグループにも沖縄同友会化委員が入っていることもあり、活発な討論がなされました。発表の時に多く聞かれたのは、「教科書やマスコミでは知り得ない初めて知った事実

**第14分科会**  
体験型の市場づくり―観光客と地元客から愛されるマチグワーへ



粟國 智光氏

第十四分科会は、「那覇マチグワー物語」のテーマで特別分科会が行われました。多くの観光客で活気あふれる那覇の街(公設市場、水上店舗、アーケード街)を視察の後、第一牧志公設市場・組合長の粟國智光氏、(株)アンテナ・社長の石原地江氏、なほマチグワー連携プロジェクトマネー

ジャリーの萩原雄三氏の三名より戦後の闇市から始まった那覇マチグワーの歴史と現在の取組みや課題について報告がありました。戦後の物資不足と混乱の中から自然発生的に始まった闇市。複合商店街へと発展する過程の中で度重なるガープ川の氾濫による水害、牧志公設市場の焼失、二度の通貨のきりかえ、本土復帰、本土資本の流入と、とりまく環境に適応しながらも、逞しく生き抜いてきた街の方々。しかし、



石原 地江氏

笑顔や涙、人情模様が見える温かい市場にも次のリーダーがいらない、駐車場や公衆トイレ問題、建物の老朽化、地元客離れ等多くの課題も山積です。石原氏は萩原氏と共に、なほマチグワープロジェクトを開始。千軒を超える店舗をまとめるのは容易ではなく、諦めかけた時、同友会の学びを生かし、少しずつ成果が表れてきました。地域の人の話をしっかりと聞くことでPDCAがまわり、通り会長任せで

那覇まちゼミでは、化粧品店で眉描き講習会が顧客につながり、楽器店ではウクレレ講座を開催し、参加者の六割が購入。薬局では、じつくりと相談できることを売りにす



萩原 雄三氏

はなく、やる気のある人と繋がる事で町おこしが進みました。通り会や店舗が連携し、那覇まちゼミ、なほまちスタンプウォーク、観光客と地元客の交流、店舗体験型ツアー、ゆつくる新聞、マチグワーのあふれる魅力を発信しています。



市場内を視察する参加者

牧志公設市場は来年の六月に老朽化のため、解体され新たな建物が作られることになりました。是非この機会に歴史ある市場を訪れてみてはいかがでしょうか。(株)アンテナ・商事・與崎文美)

等、各店が楽しみながら取り組み、成果を上げています。また、大学生によるビジョンづくり、高校生と小学生の関わる仕掛けで、次世代の人材育成にも繋げることが出来ました。体験型の市場づくり、店主とお客が心をつながり、また来たいと思える交流をする事で観光客のみならず、多くの地元客からも愛されるマ

チグワーになっていきたいとの報告でした。学生時代、自身も中部からバスに乗って何度も訪れた場所でしたが、今回約十五年ぶりの訪問で外国人の多さに驚き異国情緒な町の魅力も発見できました。ガイドさんから、まちの歴史、働き手の事情など踏み込んだ話も聞け、是非また来たいと思えました。県外の参加者からは、人々のパワーを感じる、様々な問題はあると思うが、うらやましい環境、今日の学びを地域おこしにつなげていきたいとの声がありました。

「青全交」オプショナルツアー  
全国の皆さんと絆深めるバスツアー



平和について考える

「青全交」二日目を終了後、カリスマスパーバスガイド崎原真弓氏の日帰りバスツアーのオプショ

ナルツアーに、県外・県内のメンバーを含め三十五名の参加で行われました。「ひめゆりの塔」隣にあるレストランでいご(会員・(株)梯梧・山城朝美社長)で昼食をとり、ひめゆりの塔へ歩いて移動。終戦直後のアメリカ軍統治下で物資難な時代に建立された「ひめゆりの塔」は、当時の第三外科壕に学徒隊として従軍していたひめゆり学徒隊にちなんだ名称。塔の拝観

後、生存者の手記や従軍の様子が展示されているひめゆり平和祈念資料館を見学。その後、平和祈念公園へ移動し、国境・思想・宗教を超え島で犠牲になった方の名前が刻まれている「平和の礎」と「平和祈念堂」を見学しました。車中では、住民を巻き込んだ唯一の地上戦が繰り広げられた沖縄・戦後を生き抜いた女性たちの想いを、崎原氏が魂を込めて語り、沖縄にちなんだ歌を参加者全員で歌いました。平和について改めて考えるツアーとなりました。(事務局)



### 社長・社員共育塾 第5講 社員と共に育つ「経営環境づくり」

十一月二十日、社長・社員共育塾第五講が二十四社九十六名の参加で開催されました。代表理事で(株)丸忠・社長の喜納朝勝氏を講師に「寧静致遠（ねいせいちえん）」遠



グループ討論で学びを深め合う

くに志をたて、コツコツと「のテーマで報告されました。

喜納社長の不離一休シートをもとに創業者から引き継ぐ際の苦悩や決断に至った経緯を分かりやすくお話を進められました。引き続きだ当時は債務超過でしたが、現在では自己資本率七〇％近くまで会社を成長させ、創業者へ感謝の念を持ち、社員と共に育つ経営環境を作り続ける姿勢に、参加した幹部社員や各社の代表にとっても多くの刺激を頂いた時間となりました。

はかり学び続け実践し続ける、実践とは成果を伴う具体的な行動だ」という言葉は、喜納社長が実践と成果を出し続けてきた信念の強さだと感じました。

### 第1回経営サポート学習会 自社の経営分析を行おう!!

十一月七日、浦添市でだこホールにて、第一回経営サポート学習会を七名の参加で開催しました。

「企業変革支援プログラムの活用でよい会社づくりを」のテーマで、オフィスあるふぁ・代表の青山喜佐子氏に企業変革支援プログラムの必要性をお話しいただき、(有)葬禮社・社長の比嘉良太氏からは、企業変革支援プログラムの登録実践で参

加者と一緒に登録の作業を行い、学びのある学習会になりました。

企業変革支援プログラムは edoyu から行うことができ、自社の良い点・悪い点がグラフで見ることができるシステムで、四半期ごとや全国の同業

### 第5回新人フォローアップ研修会 「常に問い、自分を信じるか」が大切

十一月二十六日、沖縄産業支援センターにて第五回新人フォローアップ研修会が二十七社八十八



実例を含め説明する青山氏

者との比較・分析できるシステムです。

アンケート式で簡単に操作できますので、ぜひお試しください。edoyu の操作方法がわからない方は、事務局にご連絡ください！（事務局）

名の参加で開催されました。(株)木立・社長の三木一成氏を報告者に「理念経営と理念教育の実践」をテーマに報告していただきました。



ワークをしながら研修をすすめる

**2019年 新春のつどい**  
**真のリーダーは人を生かす**  
 ～私の経営いろはかるた～

**と き** 2019年1月24日(木)  
 【時間】17:00～20:30(受付16:30～)

**と ころ** パシフィックホテル2階【住所】那覇市西3丁目6番1号

**第I部 (17:00～18:30) 「記念講演」**  
 日産ディーゼル工業(株) 元社長  
**仲村 巖 氏**

**第II部 (18:50～20:30) 「新年懇親パーティー」**

**参加費** 4,000円(I部・II部含む)  
**申込締切** 1月18日(金)

### 来年はどんな年？ 気質学的には・・・

いよいよ年末。今年はどうな年でしたか？ 同友会にとっても、会員にとっても実り多い年となったのではないのでしょうか。

しながらも、新年の準備をする頃です。特に今年には平成が終わり、来年は新たな元号に変わる節目の時です。

来年はどんな年なのか、皆さんご存知の気質学的稲福ひろみさん(浦西支部)に来年の過ごし方について聴きました。

### 己亥(こゝろ)の年

来年は四柱推命では、己亥の年です。

「己」は、土・畑のエネルギー。畑は育むところで、作物の収穫までに

時間を要し、努力なしでは実りは得られません。来年は、春夏秋冬を通して、作物を育み、恵をもたらす年です。

「亥」は、十二支の十二番目の動物ですが、自分の気持ちにまっすぐで、曲がったことが嫌いだ。だがむしろに行動するだけでなく、コツコツ堅実に前進することが求められます。

周囲と調和しながら進むことが成功の力。己亥の年です。

「己」は、土・畑のエネルギー。畑は育むところで、作物の収穫までに



(プロフィール)  
 社会保険労務士  
 日本産業カウンセラー  
 大学非常勤講師  
 市町村行政改革推進委員など  
 オフィスあるふぁ  
 TEL.098-870-6686



青山喜佐子 (オフィスあるふぁ代表)

冬。収穫は終わり、次の準備に取り掛かる時期です。畑の表には収穫物が見えなくても、土壌に養分が残っているのだから、次のために畑のメンテナンスが大切。

「実りを信じて一心一意に進む努力をする年です」

己亥の年の努力は大きな実りをもたらすでしょう。新しい年の参考に。

### 宮古支部 新人フォローアップ研修会第2講 円滑な「報・連・相」の5つのポイント



砂川政二氏

十一月十六日、平良港マリンターミナルビルにて、宮古支部新人フォローアップ研修会第二講が二十六名の参加で開催されました。

(株)ジーオフィスの砂川

政二社長を講師に「報連相コミュニケーション実践」チームの信頼感と周囲を巻き込む力を向上させよう」のテーマでセミナーが行われました。

砂川社長は宮古島の来間島出身で就職採用コンサルタントで事業を経営されています。「最初に印象良く記憶に残る自己紹介とは」と話されました。特に笑いを入れたら

なお良いとの事で、和や



熱心に講義を聴く受講生

かに、少し緊張感もあり参加者一人一人実践しました。

そして、情報共有することには、聴くこと感じることが大切。話しやすい環境

自らに「常に問い続けてきたこと」と「自分自身を信じられるか」が大切で、どんな状況でも道を選択するのはその人自身だと話します。

第六回は、二月二十五日です。受講生による「一年間の成長」をテーマに報告が行われます。参加の検討されている会員の皆さん、ぜひ社員さんの成長している姿を見に来てください！(事務局)

をつくりコミュニケーションを高めると報連相の確にできる。また、①場をつくる。②相手に共感し受け止める。③表情・動作・程よい相づちで話を誘導する。④批判、反論しない。⑤忍耐強く話を聴くなど、五つのポイントも上げられました。



「青全交」本番直前！  
綿密な打合せで最高のおもてなしを!!

十一月六日、ロワジュールホテルにて、第四十六回青年経営者全国交流会の総合リハーサルと決起大会を一〇〇名余の参加で開催しました。前段で



参加者全員で打合せ中!

は、全体を通してのリハーサル、各分科会&グループ長打ち合わせ等、本番に向けて綿密に打ち合わせを行いました。引き続き行われた決起大会の懇親会に先輩経営者の皆さん含め多くの方の参加があり、以前に経験した全国行事からの反省など今回に活かせられることを教えてもらいました。

開会の挨拶を真栄田一郎代表理事、乾杯の挨拶を當野正樹副実行委員長が青全交への意気込みと心構えを交えながらお話し頂きました。

その後は、各分科会の担当者より分科会の魅力発表やスペシャルアトラクションの演出を手がけている平田大一人さんより、当日の流れを説明して頂き、最後に二十年前

北部支部  
6次産業化委員会視察  
宮古の地で「希望」と「パワー」浴びる

十一月十五日〜十六日にかけて、北部支部6次産業化委員会宮古視察が二十六名の参加で開催されました。日々の業務から解放され、悠々とした時の中で宮古島の6次産業やその経営を学び、宮古支部との親交も深めることができた視察となりました。

に沖縄で開催した、中同協総会で実行委員長を務めた石川元章相談役より、メールを送ってもらい、熱い懇親会を閉める事が出来ました。(旬おおば・新城恵梨花)



園の中で集合写真

を訪問させて頂き、特に取り上げたいのは「みやこ福祉会」の水耕栽培施設。ここでは生産・加工・販売まで行い一年を通して新鮮な野菜を提供しています。また、障害者の就労支援を行い、生き生きと働いている環境を目の当たりにして、こういう施設が各地にもっと増える事を期待すると同時に、積極的にその商品を買うなど少しでも自分

できる支援をしていきたいと感じました。また島の駅みやこの「パラダイスプラン」では、西里社長を講師に、宮古愛に基づいたワインウインウイン(農家、顧客、小売)の経営哲学と創業からの大きな苦労を乗り越えて今に至った経緯から希望とパワーを全身に頂きました。(名護住宅サービス・石川良光)



新しい会員たちとグループ討論

新会員オリエンテーション  
多くの仲間を得られたことが一番の幸せ!

十一月十四日、八汐荘にて「新会員オリエンテーション」&同友会を知る会「ビジネス交流会(ミニ版)」が二十名(内、新会員十名)の参加で行われました。「同友会運動と会社経営は両輪。どちらか一方だけに偏ってしまうと前進できなくなってしまう」赤嶺剛副代表理事から心に残る言葉がありました。喜納朝勝代表理事から新会員さん一人一人へバツ

ジが贈呈され、新会員さんが自己紹介をされましたが、明確な経営課題や同友会に参加した目的を持たれていて、意識の高い方々ばかりでした。私も役割を頂き、会活動を通して学んだことを話させて頂きました。二年前の入会からこれまで密度の濃い時間を過ごしてきたこと、多くの仲間を得られたことが一番の幸せです。新たな仲間が増えたことをとても嬉しく感じています。新会員の皆さん、共に学び合いましよう!(株)ゴールドオフィス・當銘将也)

「県出前講座」で  
観光課題考える!

沖縄県が抱える観光の課題と施策について学ぶ機会として、十一月七日に、ビジネス連携部会観光委員会「沖縄県出前講座」を沖縄産業支援センターにて開催しました。講師は沖縄県文化観光スポーツ部主査の渡久地政樹氏がつとめました。

中でもリピーター率が八割と説明。しかし国内でも六〇%の方が来県されてないことから需要の掘り起しが必要として修学旅行の誘致など取組みを説明されました。滞在日数や消費額はハ

現状として平成二九年度入域観光客数九五八万人と五年連続過去最高を記録した要因として、外国人観光客の伸び(八割が東アジア)や中間層の増の施策(一括交付金)などをあげました。その



観光の課題について学ぶ

ワイとの比較でハワイ約九日間、二〇万円強に対し沖縄は約四日間、約七万四千円と大きな開きがあり、課題がある。県では「観光推進ロードマップ」を作成、戦略実行会議として縦軸横軸を作ることで、PDCAを回し、課題解決に取り組み体制を構築しています。ナイトエンターテインメントや台風などの天候に左右されない、質の向上や人材の確保、MICEの推進など沖縄にあるコンテンツをフル活用しながらすすめること。県の満足度も考慮しながら国内国外の観光客増に向け第五次沖縄県観光振興基本計画で指標をたてていることを説明されました。(事務局)

支部例  
社員と共に工夫を凝らした  
独自の運営を!



新垣 邦雄氏

邦雄氏が「新聞記者から社長に」子供たちに夢と笑顔運びます」をテーマに報告。前職は琉球新報の新聞記者でした。その経験の語り新垣社長の人柄が見えます。新垣社長の転機のきっかけになった宮古支局での日々。文化や

十一月八日、糸満工業団地会館にて南部支部例会が十六名の参加で行なわれました。「遊園地のない沖縄の子どもたちに夢と笑顔を！」をコンセプトに掲げた移動遊園地を運営する企業の(株)キッズビレッジ・社長の新垣

碧の会  
企業PRプレゼン大会  
お互いの事業内容を知る!

十一月二十日、沖縄産業支援センターにて、碧の会「企業PRプレゼン大会」が十九名の参加で開催されました。初めての試みのプレゼン大会で

歴史、自然に魅了されます。ついにはバードウォッチングが趣味に! そんな新垣社長に、子会社である(株)キッズビレッジの社長就任の話が持ち上がりました。子ども達の笑顔のため新垣社長は就任を決めますが、思うような経営はできずに苦しみます。イベントは季節に左右され、社員の労働環境も最大の課題に。計画を見直し、社員と共に工夫を凝らした独自の運営を実施。売上げは回復。さらに子どもたちの福祉にも目を向け、向上心を持ち行動し続けています。(中村印刷(株)・知念由紀)

したが、この間、同友会へ入会した新会員さん

ジョブ・カード制度で  
貴社の社員を  
育成しませんか!!  
沖縄県地域  
ジョブ・カードセンター  
ジョブ・カード制度のご案内はこちら



参加者の皆さんでハイチーズ!

参加し、お互いの事業内容を深く知ることができました。企業プレゼンは、参加者へ伝わるようにプロジェクターや自社のパンフレットなどを工夫されており、参加者の自社のピーアールにも参考にできる点が沢山ありました。碧の会では色々な企画を計画しています。ゲストの参加も大歓迎ですので、ぜひ、興味がある方は一緒に参加してみませんか?(事務局)



### 業務効率の大幅UPが期待！

消費税軽減税率や急速に進むキャッシュレス化への対応、そして何より人手不足でお困りではありませんか？

創業二十年の地元企業（株）K・J・Sが提供するPOSシステム『結』シリーズは、消費税軽減税率



赤嶺社長とPOSシステム「結」

率対応のPOSレジ（※補助金制度あり。一台最大四十万円、一企業最大二〇〇万円まで）をはじめとして、売上・仕入・

在庫管理、店舗・顧客管理、財務会計、給与計算、勤怠管理等が連動一体となった頼れるシステム。売上入力や在庫・財務へ、タイムカードが給与計算へ反映される等、業務効率の大幅UPが期待できます。

さらに嬉しいのは、業種や要望に応じて、セミオーダー方式で必要な機能だけを組み合わせたシステムを提供＆サポートして貰えること。飲食業では多言語対応セルフオーダーシステム、物販業では売上集計機能など、売上アップや営業戦略にもつながるオプション機能の豊富さと初心者でも分かりやすい画面も魅力です。

**(株) K. J. S**  
 〈那覇支部〉  
 代表取締役 **赤嶺 裕三 氏**  
 所在地/那覇市金城2-22-7  
 TEL/098-859-8501  
 事業内容/IT関連  
 URL/http://www.kjsg.co.jp/index.html

同社は今後、台湾や韓国の銀行カード対応端末の県内導入代理店業務も開始すること。気さくな赤嶺裕三社長と専門スタッフがシステム導入から運用までトータルでサポートします。料金などさらに詳しい内容については、同社HPまたは赤嶺社長まで（かりゆし法律事務所・望月弘子）

### ビジネス連携部会ゆるいまる 色々な学習会 開催しています！

十一月二十一日、MICE振興条例の学習会が二十四名の参加で開催されました。沖縄県文化観光スポーツ部MICE推進課・課長の加賀谷陽平氏を講師に「MICEの進捗状況と振興戦略について」のテーマで報告がありました。

沖縄県の振興におけるMICEの位置付けは、21世紀ビジョン基本計画（後期）で、MICEを沖縄経済発展のプラッ

トフォームとして位置付け、MICEを活用した産業振興とMICE関連産業の創出を図る政策を推進するとして、振興戦略や誘致方針や具体的な取組の報告がありました。

多目的ホール、中小会議室、展示場等の施設の規模や二万人規模のコンサート収容規模、建設に携わる経済効果が三、六〇七億円、運営の経済効果が六〇三億円／年と試算して国へ提言しているが、国は収支に不安があるとして振興予算が下りず収支の練り直しを迫

### 観光委員会 まくさむんロード



参加者全員でハイチーズ！

十一月四日、「まーさむんロード」として、開南バス停より出発し都市型サンライズマルシェ、農連プラザ、壺屋やちむん通りの視察を八名の参加で行いました。

サンライズ那覇商店街

は三十年前の活気とは違いシャッターを閉じた店が多数見られ寂しさを感じましたが、それを盛り上げようと数多くの出店業者で都市型マルシェを形成し新たな活気に湧いていました。次に新しくなった農連プラザには、人情横丁のオバーの姿も少なくユンタクしながら

**糸数久美子さん**  
 中同協女性部連絡会・代表  
 15年間 お疲れ様!!

十一月五日、ザ・ナハテラスにて「糸数久美子氏お疲れさま会」が碧の会主催で五十八名の参加者で開催されました。中同協女性部連絡会の代表を十五年間という節目で退任される糸数氏は、就任した年に「女性



糸数氏を囲んで

の元気が豊かな社会を創る「生活者の視点で中小企業憲章制定を！」と提議。このことは、全国の女性部に中小企業である事の誇りとその役割の自覚を促し、学習を広げ、自治体や首長からも注目

### 建設委員会 民法改正学習会

センター法律事務所の弁護士・松本和弘氏を迎え「建設業の請負契約における『瑕疵担保責任』から『契約不適合責任』への変更」をテーマに学ばせて頂きました。二〇二〇年四月一日に改正される民法の読み解き方で特に、一生に一度の買い物となる住宅建設における「瑕疵担保責任」の文言が消え「契約不適合責任」へと変更されるにあたり、改正民法から「瑕疵」と解釈できる条文の拾い方を現行法と比べながら解説。工事発注である施主側の逆からの解釈も理解できましたが、時間が足りずに講義が終了しても質問が止まず、支部例会でも繰り返し学びたい講義内容でした。

十一月十四日、民法改正学習会が沖縄産業支援センターにて八名の参加で開催しました。講師に

**文進印刷株式会社**  
 本社/〒901-0416 沖縄県島尻郡八重瀬町字宜次706-4  
 TEL (098) 996-3356 (代) FAX (098) 996-3357

那覇営業所/〒902-0074 沖縄県那覇市字仲井真201番地18  
 TEL (098) 855-2323 (代) FAX (098) 996-3357

浦添営業所/〒901-2111 沖縄県浦添市経塚811-14  
 TEL (098) 879-9303 (代) FAX (098) 996-3357

宜野湾営業所/〒901-2214 沖縄県宜野湾市我如古3-11-5 1F  
 TEL (098) 898-1055 (代) FAX (098) 996-3357

沖繩営業所/〒904-2165 沖縄県沖繩市宮里2丁目1番3号  
 TEL (098) 937-8607 (代) FAX (098) 996-3357

糸満営業所/〒901-0303 沖縄県糸満市字兼城473-10 グレイスコート102  
 TEL (098) 994-5777 (代) FAX (098) 996-3357

うるま営業所/〒904-2215 沖縄県うるま市具志川みどり町3-19-5  
 TEL (098) 973-5676 (代) FAX (098) 996-3357

平成19年2月6日、個人情報保護のための仕組みである、JISQ15001:2006 (プライバシーマーク認定番号24000306 (04)) を取得いたしました。

＜南部支部会員＞

を集める存在に押し上げていったのです。糸数氏の信念は、三十年前に「碧の会」立ち上げに関わった新城恵子・比嘉みみ子両相談役も祝辞の中で語られたように、婦人部だけでなく「女性経営者部会を創ろう」の熱い思いが決して消えることなく、脈々とそこに在るのだと気づかされます。そしてもう一つ、彼女の持つ華やかさと愛らしさ。「しなやかに、したたかに・美しく！」を合言葉に。謝辞は家族への感謝も溢れるスマイルで、「今は通過点です。ここで終わりではないので、これからも宜しくお願ひしますね」と結ばれました。

（株）みやび・小林ゆり江

同友会に入会して一年になりますが、残念ながらなかなか参加しきれっていません。社労士として年間一〇〇社程度企業を訪問してありますが、「二ライみらい」に掲載されている情報がとても役に立つことがあります。県内企業の皆様が日頃関心を寄せていることや経営努力していること等の情報が得られ、セミナーやコンサルタント業務に大変参考にさせていただいております。

これからもステキな記事を楽しみにしています。（水澤社労士コンサルティング・水澤孝一）

